

佐々木会長記者会見（電子情報産業の世界生産見通し）



佐々木会長

JEITAは12月24日に佐々木会長の記者会見を開催し、『電子情報産業の世界生産見通し』調査結果を発表しました。

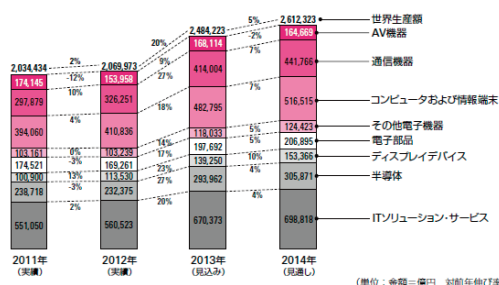
企業活動のグローバル化の進展にとともに、広く業界動向を把握するため、当年の世界生産見込み、翌年の見通しなどについてALL JEITAの体制で、2007年から調査を実施しております。

会見には32社39名の報道関係者が出席し、当産業の先行きへの関心の高さがうかがえました。

電子情報産業の世界生産見通し

2013年：先進国が緩やかな回復傾向にあるなか、新興国経済減速の影響を受けるものの、248兆円、前年比20%増の見込み（為替変動の影響を含む）
2014年：世界経済の比較的高い成長が見込まれるなか、261兆円、5%増と世界経済の伸びを上回る見通し

■電子情報産業の世界生産額推移

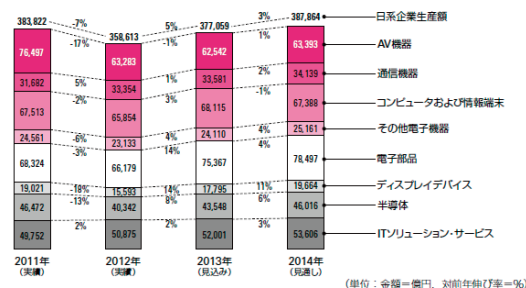


日系企業の世界生産見通し

リーマンショック後、2010年からの超円高、2011年の東日本大震災やタイの大洪

水、2012年の尖閣問題などの影響もあり減少傾向にありましたが、増加に転じます。
2013年：アベノミクス効果による過度な円高の是正、国内景気の持ち直しなどにより、2011年、2012年の減少から増加に転じ、37.7兆円、前年比5%増の見込み
2014年：38.8兆円、3%増と2年連続増加の見通し

■日系企業の生産額推移



記者会見の様子

【刊行物のご案内】

■ 電子情報産業の世界生産見通し2013

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=518&cateid=1>

■ 注目分野に関する動向調査（M2M / IoT, M2M / IoT 利活用分野, カーエレクトロニクス / カーインフラ）

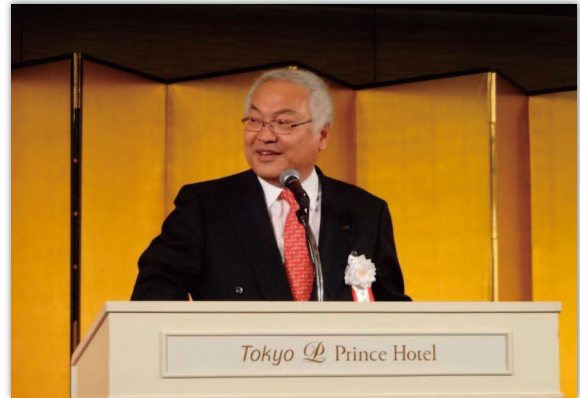
<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=519&cateid=1>

新年賀詞交歓会

1月8日に東京プリンスホテルで恒例の新年賀詞交歓会が盛大に開催されました。会員各社のトップのみならず、産官学から関係者が多数出席しました。

主催者を代表して佐々木会長から「2013年は、厳しい事業環境下で七転八倒してきた当業界にも、明るい兆しが見え始めた。IT・エレクトロニクス産業は約9兆円の輸出を行っている日本の基幹産業である。国際競争が激しさを増す中で、われわれは新たなイノベーションや付加価値を生み出し、従前にも増して、国際社会でリーダーシップを取っていかねばならない。そのために、当産業は、今後、著しい成長が見込まれる医療、エネルギー、社会インフラ、自動車、農業分野などと、あらゆる分野、技術と融合し、世界に先駆けたスマート社会の実現に向け大いに貢献できるものと確信している。当業界が一致団結し、真の日本経済再生と世界最先端IT立国を目指して力強い一歩を踏み出すとともに、わが国最先端の技術を結集したベストプラクティスをデファクト化して海外へ積極的に展開していくことで、未来志向のスマート社会実現に貢献できるよう、当協会は決意も新たに、本年も事業を推進していきたい。」と年頭のご挨拶がありました。

また、来賓としてご出席いただいた茂木経済産業大臣からは、「IT・エレクトロニクス産業は約100万人の雇用を支えるわが国の基幹産業であり、経済の好循環を支えるキーとなる。経済政策を確実に実行することで好循環を生み出し、景気回復を実感してもらえたい。」と力強いお言葉をいただきました。



佐々木会長



茂木経済産業大臣



大勢の出席者でにぎわう会場